

## 特別調査 「中小企業の将来を見据えた事業承継について」

問1. 貴社の社長（代表者）の年齢階層はいずれに属しますか。次の1～5の中から1つ選んでお答えください。また、貴社の後継者問題について最もあてはまるものを6～0の中から1つ選んでお答えください。

（単位：件・％）

	1. 20歳代 30歳代	2. 40歳代	3. 50歳代	4. 60歳代	5. 70歳代 以上	6. 後継者はすでに決まっている	7. 後継者はいるが、まだ決まっていない	8. 候補者が見当たらない	9. まだ考えていない	0. 後継者は必要ない（事業譲渡希望、廃業予定など）
合計（構成比）	2.3	11.0	22.0	42.7	22.0	27.7	15.6	13.9	31.8	11.0
合計件数	4	19	38	74	38	48	27	24	55	19
製造	0	7	10	12	10	12	7	5	13	2
建設	0	3	3	28	8	12	10	5	10	5
卸売	1	1	3	1	1	3	1	0	3	0
小売	1	7	13	21	12	12	5	6	21	10
サービス	2	1	9	12	7	9	4	8	8	2

\*社長（代表者）の年齢階層については、「60歳代（42.7%）」が最も高く、次に「50歳代、70歳代（22.0%）」が同率で続いた。前回の平成19年9月調査と比較すると、70歳代以上の比率が2.2ポイント上昇しており、高齢化が進んでいることがうかがえる。一方で「40歳代（11.0%）」の比率も2.7ポイント上昇していることから、世代交代が進んでいるものとみられる。また、後継者の決定状況については、後継者が決まっていない企業の割合は72.3%となっている。

問2. 貴社の現時点における事業承継の考え方について最もあてはまるものを、次の1～0の中から1つ選んでお答えください。

（単位：件・％）

	1. 子供（娘婿などを含む）に承継	2. その他の同族者（兄弟、親戚など）に承継	3. 非同族の役員、従業員に承継	4. 非同族の社外人材に承継	5. MBA（第三者への事業譲渡等）	6. 忙しくて考える余裕がない	7. 何から手をつけて良いかわからない	8. 身近に相談相手がない	9. 現時点で、考えるつもりはない	0. 現在の事業を継続するつもりがない
合計（構成比）	34.1	8.0	5.7	2.3	1.2	1.2	1.2	1.2	34.1	11.0
合計件数	59	14	10	4	2	2	2	2	59	19
製造	16	3	2	0	0	1	0	0	14	3
建設	16	4	4	2	2	0	1	1	8	4
卸売	2	1	0	0	0	0	0	0	3	1
小売	15	4	1	2	0	1	0	1	22	8
サービス	10	2	3	0	0	0	1	0	12	3

\*現時点の事業承継の考え方については、「子どもに承継（娘婿などを含む。）（34.1%）」が最も多かった。多くの企業が子供への承継を志向している。一方、「その他の同族者（8.0%）」、「非同族の役職員（5.7%）」、「非同族の社外人材（2.3%）」等はすべて1割未満の回答にとどまった。また「現時点で考えるつもりはない（34.1%）」との回答は多く、一方で「事業を継続するつもりがない（11.0%）」と廃業を見据えている企業も見られた。

問3. 事業承継に関し、情報や知識の入手先について、次の1~0の中から2つ以内で選んでお答えください。

(複数回答) (単位: 件・%)

	1.新聞・書籍	2 インターネット	3. 取引先金融機関	4. 商工会議所・商工会	5. 国・地方公共団体及びその外郭団体	6. 専門家(税理士等)	7. 取引先企業	8. コンサルタント企業	9. その他	0. 特になし
合計(構成比)	12.7	12.1	11.6	15.6	4.6	30.6	13.9	5.2	0.0	34.7
合計件数	22	21	20	27	8	53	24	9	0	60
製造	5	1	8	9	0	12	6	3	0	12
建設	4	5	4	5	7	17	5	2	0	12
卸売	0	1	0	1	0	5	2	1	0	1
小売	9	10	5	8	0	12	8	3	0	20
サービス	4	4	3	4	1	7	3	0	0	15

\* 事業承継に関する情報や知識の入手先については、「専門家(税理士等)(30.6%)」が最も高く、「商工会議所・商工会(15.6%)」、「取引先企業(13.9%)」、「新聞・書籍(12.7%)」、「インターネット(12.1%)」、「取引先金融機関(11.6%)」と続いた。一方、「特になし(34.4%)」との回答もあり、情報が十分に入手できていない企業も一定数存在する。

問4. 貴社では事業承継を行おうとする際に、どのようなことが問題になると考えられますか。次の1~0の中から3つ以内で選んでお答えください。

(複数回答) (単位: 件・%)

	1. 事業の将来性	2 取引先との信頼関係の維持	3. 社員の不平・不満	4. 先代経営者の影響力	5. 後継者の力量不足	6. 借入れに際しての個人保証・担保	7. 相続税などの税金対策	8. 自社株など個人資産の取扱い	9. 特になし	0. その他
合計(構成比)	70.5	30.6	5.2	11.0	15.0	17.3	8.7	5.8	20.2	1.2
合計件数	122	53	9	19	26	30	15	10	35	2
製造	26	14	1	4	8	8	4	4	9	0
建設	31	17	4	7	5	7	5	4	7	0
卸売	7	2	0	1	0	2	1	1	0	0
小売	39	12	3	5	7	9	3	1	11	1
サービス	19	8	1	2	6	4	2	0	8	1

\* 事業承継を行おうとする際の問題点としては、「事業の将来性(70.5%)」が最も高く、次に「取引先との信頼関係の維持(30.6%)」、「借入れに際しての個人保証・担保(17.3%)」、「後継者の力量不足(15.0%)」、「先代経営者の影響力(11.0%)」等が続いた。一方、「特になし(20.2%)」とする企業も見られた。

問5. 中小企業が円滑に事業承継を進めていく上で、信用金庫には何を期待しますか。信用金庫に対して期待していること、もしくは今後期待したいことについて、最もあてはまるものを次の1~0の中から1つ選んでお答えください。

(単位：件・%)

	1. 後継者教育・セミナー等	2. 個別相談	3. 専門家(税理士等)の紹介	4. 事業譲渡先の紹介	5. 事業承継前後の個人保証・担保の対応	6. 早期の事業承継の準備への助言等	7. 承継後の事業計画の策定への助言等	8. 自社の問題であるため自社で解決	9. 特に期待していない	0. その他
合計(構成比)	12.1	14.5	4.1	2.3	7.5	5.8	6.4	17.3	27.7	2.3
合計件数	21	25	7	4	13	10	11	30	48	4
製造	8	7	2	1	5	2	1	5	8	0
建設	4	6	2	1	5	3	3	5	13	0
卸売	1	0	0	0	0	0	0	3	3	0
小売	5	8	2	2	3	3	5	12	11	3
サービス	3	4	1	0	0	2	2	5	13	1

\*信用金庫への期待(今後の期待を含む)について、「個別相談(14.5%)」、「後継者教育・セミナー等(12.1%)」、「事業承継前後の個人保証・担保の対応(7.5%)」と続いた。一方、「自社の問題であるため自社で解決(17.3%)」、「特に期待していない(27.7%)」とする回答は4割をこえた。

### ～調査員のコメントから～

- 原材料(魚)の高値続きで利幅が大幅に減少している。(製造業)
- 仕入条件等の見直しで収益向上、生産増加を見込むが設備が不足。(製造業)
- 社内(役職員)の営業努力により一定の工事高を確保している。(建設業)
- 一般電気工事は受注安定、船舶関係工事も受注多く多忙予想。(建設業)
- ネット通販利用者増加で若年層の顧客確保が難しく年々顧客数は減少。(小売業)
- 固定客有しているも、顧客の高齢化が進み事業は縮小傾向にある。(小売業)
- マイナンバー制度が始まり、カード申請の証明写真撮影が増加している。(小売業)
- 灯油価格が下がっていることから、エコストーブへの入れ替えが増加。(小売業)
- 管外からの来店客が増加している、3月よりランチ営業を再開。(サービス業)
- 観光客の評判良くリピーターが増えてきている春からの客数増加に期待。(サービス業)